

---

## ワンマン道路

川が2本に分かれる辺りを字名「坂本」という。JR線と柏尾川の上にかかる橋を「戸塚跨線橋」という。橋を渡る道路を通称「ワンマン道路」といい、現在は国道1号線の本道である。

開通したのが、昭和28年、当時としては珍しい有料道路であった。

この道路が建設されたそもそものきっかけは、JR戸塚駅脇の大踏切である。

当時から現在に至るまで、JR戸塚駅脇の大踏切は開かずの踏切として国道1号線の難所の一つであった。戦後間もなく首相になった故吉田茂は、大磯の自邸から東京の官邸まで毎日国道1号線を往復していたが、この踏切に往生し「バイパスを造れ」の鶴の一声でできたといわれたので通称「ワンマン道路」というのである。

もっとも、その後昭和34年には、このワンマン道路と保土ヶ谷の常盤台を結ぶ横浜新道が開通しているので、すでに建設省の道路計画の一環の中にあっただものと思われる。となれば、身勝手かつ高慢な吉田茂説でもない多少の弁護もしておく必要がある。

くだんの大踏切はそろそろ撤去になる。歩き納めをしてみたい人大至急。